

## 提案概要（下関市勤労青少年ホーム）

評価項目		指定管理候補者
基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針	下関市勤労青少年ホームの「勤労青少年の福祉の増進と健全な育成を図る」という設置目的の達成に加え、「未来へ夢の描ける若者の形成」に寄与することを目標とし、6つの基本方針を定め、管理運営を行う。 1. 多世代交流 2. 地域交流 3. 異文化交流 4. 余暇活動の充実 5. 就業の促進・支援 6. 公共施設としての適正な管理運営
	市民の平等な利用の確保	「勤労青少年の活動拠点」を目指し、安全快適な施設づくりをし、公平性を保った運営を行う。
	施設の効用の最大限の発揮	企業訪問等による施設の利用案内、多世代・異文化交流事業をはじめとする多種多様な事業、効果的な広報活動を行い、施設の利用促進を図る。 予知保全による経費の削減を行う。
団体の経営状態の健全性		定款、事業計画書、収支計画書、事業報告書及び決算書等により、経営の健全性を公表している。
事業計画	施設管理運営の実施方針（合目的性）	上記の6つの基本方針に基づき、「勤労青少年の活動拠点」を目指し、地域社会の発展に寄与し、利用者が等しく安全で快適に利用できるようPDCAサイクルに基づき、適正な管理運営に努める。
	事業への具体的な取り組み方（機能性、独創性）	1 利用促進の取組内容 （1）企業等訪問による利用促進の強化 （2）基本方針に則った事業計画 継続18事業に加え、新規12事業等を計画 ア キッズ企画 8事業 イ 高齢者交流企画 3事業 ウ 多世代・異文化交流企画 19事業 （3）地域・関係機関・ボランティア等との連携・協働 （4）広報活動による利用促進 2 サービス向上のための取組内容 （1）サービス向上のための方策 ア 娯楽談話室の活用 （ア）コーヒーや軽食販売 （イ）イベント時の食事提供 ほか イ 祝日開館の実施

		(2) トラブル・苦情の防止と発生時の対応 (3) 利用者の意見等の把握と管理運営への反映策
	施設の運営体制や組織（責任制、実効性）	人員配置計画表に基づき、適切な施設管理ができるように責任者、有資格職員を配置する。また、本社に事務局を置き、バックアップ体制を整える。 講習等受講計画に基づき、職員の資質の向上を図る。
	適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	法令上の安全義務を履行し、予知・予防保全や職員による日常点検により危険要因の早期発見に努める。専門知識や技術を要する業務を専門業者に委託し、安全で快適な環境を提供するために万全な体制で維持管理を行う。
	安全管理、緊急時等の対応（安全性）	日常点検や危機管理計画に基づき、未然に防止する方策をとる。 緊急事態発生時には対応マニュアルに基づき、利用者の安全確保を第一に、迅速な避難・誘導等に努め、必要な処置を講じる。 プライバシーマーク付与事業者として、個人情報を適切に保護するため、個人情報保護法に基づき、個人情報保護マネジメントシステムを確立し、運用する。
	環境、障害者等への配慮（社会性）	しものせきエコマネジメントプランに基づく環境保全対策への取り組みの指針を定め、環境への負荷低減を図る。
	過去の実績等	下関市勤労者総合福祉センター 平成18年以降 長府庭園、長府毛利邸、下関市内体育施設 ほか
経済性		提案価格 令和3年度 19,992千円 令和4年度 19,985千円 令和5年度 19,985千円 令和6年度 19,975千円 令和7年度 19,989千円